学校番号	１００９

令和３年度　農業科

教科	農業	科目	果樹	単位数	２単位	年次	２，３年次
使用教科書	「果樹」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

果樹の栽培技術や経営について座学・実習・ワークショップ等をつうじて、科学的な考え方や知識・技術を身につけます。実習では、果樹の栽培管理や生育状況をよく監察し取り組みましょう。

2　学習の到達目標

・果樹栽培を通して果樹の生理・生態的な特性や栽培環境及び生育の相互関係を理解させ、栽培管理に関する基本的な知識と技術を習得する。
・果樹栽培の計画・管理・評価・施設や農地の利用、生産物の商品化や流通など経営管理などの必要性と消費者のニーズについて理解させる。
・良質かつ安全な食料を安定的に供給することがもとめられることから品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。
・科学的思考力と問題解決能力を伸ばし、農業の各分野で活用する能力と育てる。
・調べ学習した内容について ICT を活用し表現力と発表態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	果樹の栽培や流通について興味・関心を持ち課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	果樹の栽培や流通に関する諸課題の解決をめざし思考を深め、基本的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	果樹の栽培や流通に関する基本的な技術を身に付け、果樹栽培に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	果樹の栽培や流通に関する基本的な技術を身に付け、果樹栽培の特性と流通の重要性を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録 レポート、発表 小テスト 自己評価　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録 レポート、発表 小テスト、定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録 レポート、発表 定期考査の結果、技能テスト 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録 レポート、発表 小テスト・定期考査の結果　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5 6 7	果樹を学ぶ 果樹の生育と栽培環境 果樹の栽培管理	○果樹の種類と果樹栽培の動向 果樹の種類と果実の利用 果樹栽培の動向 ○果樹の生育と栽培環境 果樹の生育と生理 果樹栽培と環境 ○果樹の栽培管理 摘花・摘果 モモの袋掛け ブドウのジベレリン処理 苗木の育成 開園と更新 結実管理 結果調節 夏休み課題	○ ○ ◎	 ○	 ◎	○ ○ ○	a:果樹の栽培について関心を持ち、意欲的に学習に取り込もうとしている。 b:果樹の栽培について、課題を見出し、その解決をめざして思考を深め判断。表現する姿が見られる。 c:果樹栽培ついて基礎的な技術を身につけ、その、技術を活用している。 d:果樹栽培について理解し、基礎的な知識を身につける。	授業観察 ノート レポート 定期考査
8 9 10 11 12 1 2	モモ カキ	気象災害の防止 病害虫の防除 施設栽培と特殊栽培 カキの脱渋 ○モモ 栽培上の特性と品種 生育のすがたと栽培管理 ○カキ 栽培上の特性と品種 生育のすがたと栽培管理 ○カンキツ類 栽培上の特性と品種 生育のすがたと栽培管理 ○課題研究まとめ	 ◎ ◎ ◎ 	 ○ ○ ○ ○ ○	 ◎ ◎ ○ ◎ ○	 ○ ○ ○ 	a:　果樹の栽培について関心を持ち、意欲的に学習に取り込もうとしている。 b:　果樹の栽培について、課題を見出し、その解決をめざして思考を深め判断。表現する姿が見られる。 c:　果樹栽培ついて基礎的な技術を身につけ、その、技術を活用している。 d:　果樹栽培について理解し、基礎的な知識を身につける。	授業観察 ノート レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。